

土木学会 論文集

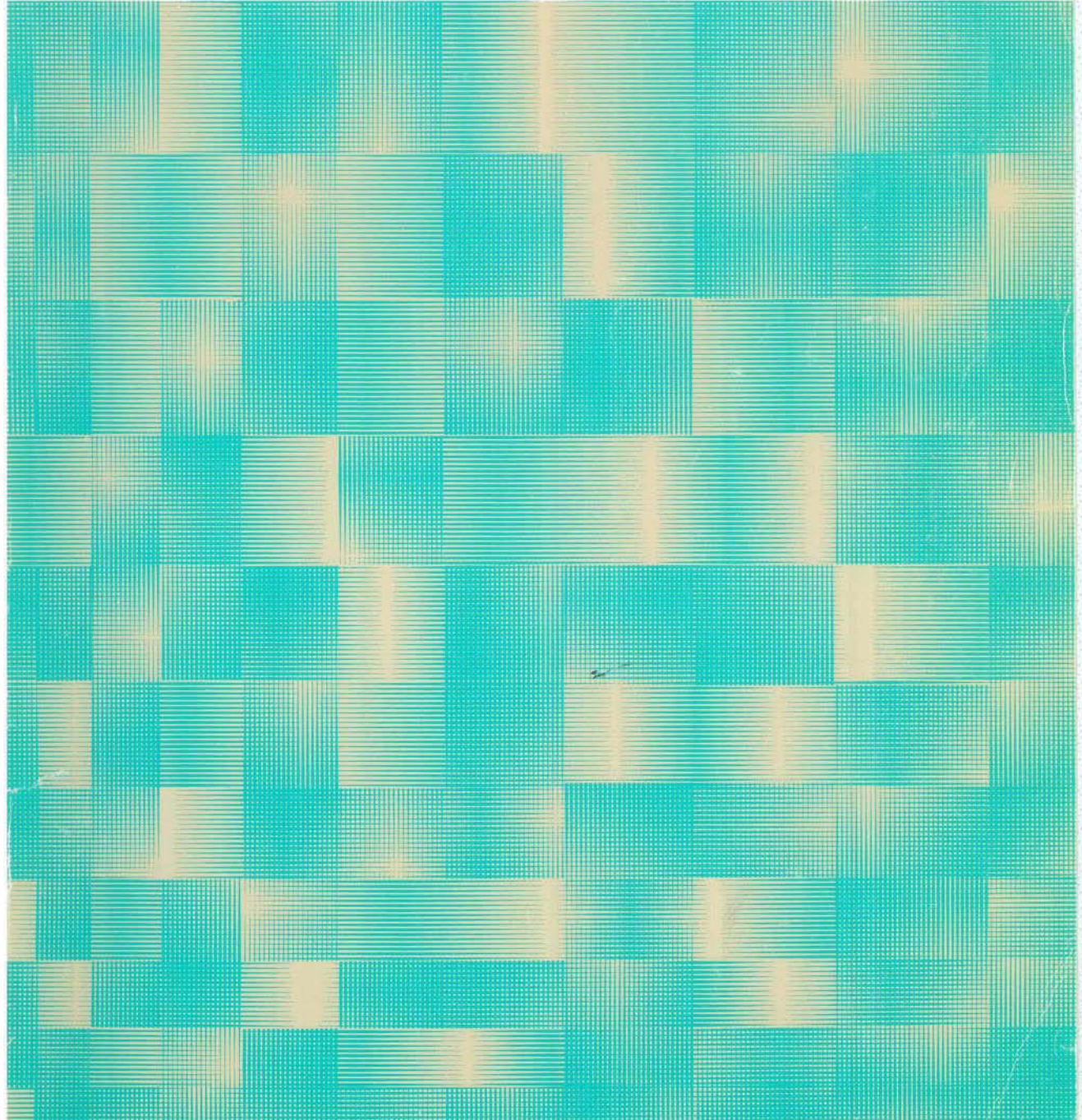
JAPAN
SOCIETY OF
CIVIL ENGINEERS



I

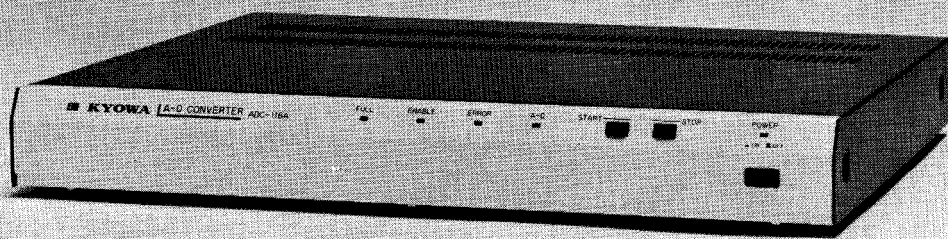
0289-7806

PROCEEDINGS OF JSCE No.356/I-3 1985-4



Structural Engineering/Earthquake Engineering 土木学会

アナログデータの コンピュータ解析に



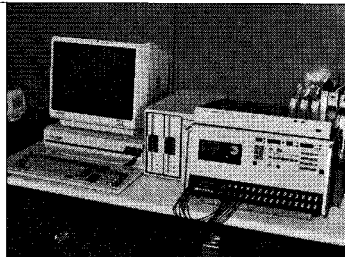
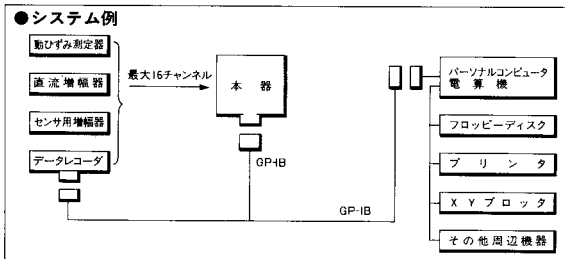
アナログ電圧（動はずみ測定器、センサ用増幅器、直流増幅器、データレコーダなどの出力）を、高速マルチプレクサで順次切換え、A-D変換し、GP-IB (IEEE-488) インタフェースを介して、パーソナルコンピュータなどにデータを転送するもので、パーソナルコンピュータなどと組合わせて、ローコストなデータ処理システムを構成できます。

特長

- 高速度かつ高分解能。
- バッファメモリを内蔵。データ転送速度に関係なく準同時性を確保できる
- データ変換速度（サンプリングクロック）は14段
- GP-IBインタフェース内蔵
- ファースト、ラストchが指定できる
- データ変換のスタート、ストップは外部信号も可能
- アナログ系とデジタル系のアイソレーション（オプション）

仕様

チャンネル数16
入力電圧±1または±5V
ビット数12ビット
サンプリングクロック20μs-0.5sec 14段
データ転送形式バイナリ、アスキー
バッファメモリ16Kワード（64Kワードオプション）
インタフェースGP-IB (IEEE-488)
電源AC 90-130V
外形寸法・重量420×50×320mm・約4kg



A-D変換器の本格派・16ch、バッファメモリ付。

マルチチャンネルA-D変換器

ADC-116A